



●「アウルコート真駒内」スタッフ 前列左から、中村彩子(ソーシャルワーカー)、森永千秋(事務長)、武田治信(代表取締役)、武田ひろみ(ライフマザー)、斎藤淳(副施設長)、山本智子(看護職)。後列左から、鎌田美耶(事務員)、大島亜美、磯由美、千葉いつみ、阿知良透、佐藤美幸、藤坂美希(以上、介護職)、桜田啓子(看護職)

スタッフも準備万端で新しい生活を心待ちにしています

ご入居されるみなさんの暮らしをサポートするスタッフは総勢14名。胸元に「CURE CREW」と刺繍されたユニフォームは、シックな色合いのジャケットスーツで、フォーマルな印象を大切にしました。同様の施設にありがちなジャージなどカジュアルな装いは避け、旅するように暮らすための案内役を目指します。

3月7日(水)・8日(木)には、配慮の行き届いたあたたかなもてなしで定評のある定山溪

温泉「ぬくもりの宿 ふる川」で1泊2日のスタッフ研修を行い、「おもてなしの心」を学びました。心地よく過ごせるよう隅々まで工夫されていた館内や、お客さまの喜びを自分の喜びとすることを実践されてきた古川善雄社長の講演から、ご入居される方々とよい関係を築くためのさまざまなヒントを教わりました。

「アウルコート真駒内」での暮らしを心豊かにするためには、スタッフ自身の心も豊かになる



講演する「ぬくもりの宿 ふる川」の古川善雄社長



ことが大事。研修後はスタッフ全員でレポートを提出し、間近に迫ったオープンへの意気込みを新たにしました。



ふくろうの家 その2 2007年3月 だより

●発行/株式会社私の青い空

●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



開設を目前に控え、ますます活気に満ちて

例年よりも早い雪解けかと思いきや、再び雪が積もったりと、気まぐれなお天気今年の春。みなさん、お変わりありませんか。

第2信となる今号の『ふくろうの家だより』では、4月のオープンを目前に控えた「アウルコート真駒内」のようすをお伝えします。

2月下旬に行った見学会では、空間設計や設備施設に対して予想を超える高い評価をいただきました。数カ所のホームを見学されている方もおられ、有料老人ホームはすでに“終の棲家”の選択肢のひとつになっているようです。

見学者の中に、コミュニティFMのパーソナリティを務める山本禎子さんがおられ、ご自身の番組で見学の印象を話されました。それがご縁となり、次の回にはライフマザー・武田が出演。

介護が必要になってもご夫婦が離れることなく同室で暮らせること、全室に介護用ベッドが設置されていること、車椅子のまま移乗できる最新の特設浴槽を備えていることなど、質問に答えるかたちで「アウルコート真駒内」の特色について解説し、山本さんからエールをいただきました。開設準備に3年余りをかけた「アウルコート真駒内」は、今ふっくらと芽吹き、ご入居を希望される方や関心のある方、コンセプトに賛同される方など、人の輪を広げています。

スタッフ全員の顔合わせと研修も終わり、4月から「アウルコート真駒内」で新しい暮らしをスタートさせる入居者の方々と、とびきりの笑顔と最上級のおもてなしの心でお待ちしています。



●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3

TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

<http://www.owlcourt.jp>

春を迎えて、「アウルコート真駒内」には ニュースがいつばい。



●レストラン

明るくて開放的な空間でいただくのは、栄養バランスに配慮した献立。食事制限のある方には治療食もご用意できます。



●居室(2人用)

広々としたご夫婦用居室は、2階と3階にそれぞれ2室あります。



●ラウンジ

薪ストーブのあるあたたかな雰囲気は、プチ・ペンションを思わせる居心地です。



●居室(1人用)

写真は家具を置いたモデルルーム。車椅子でもらくらく移動できる広さです。



●浴室

ふたつの浴場のうち、大浴場には特殊浴槽を設置。午後3～9時で毎日入浴できます。

4日間の見学会に 70名以上が参加されました

2月22日(金)から25日(日)までの4日間、「アウルコート真駒内」の見学会を行い、のべ76名にご参加いただきました。

大きな窓から注ぎ込む自然光や、木の素材が持つぬくもりなど、完成予想図からは察しきれない心地よさを肌で実

感できるのは現地での見学会ならではの。「内部が明るい」「吹き抜けの空間が気持ちよい」「思ったより居室が広く感じる」「薪ストーブのあるラウンジで何時間でも読書が楽しめそう」などのお褒めの言葉をいただき、見学されたその日に

入居のお申し込みをされた方もいらっしゃいました。

見学会は終わりましたが、一般見学は随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。



アウルのアイドル、 わんちゃんがやってくる

パンフレットでも紹介していた“同居犬”。気になっていた方も多いのではないのでしょうか。最終的にパンフレット記載の2匹は体調などの都合で交代となり、新たに面接を行った結果キャバリアの女の子「蘭

子(らんこ)」(7歳)が見事合格。ブリーダーさんイチオシの優しくおとなしい性格で、アウルの「癒し課」勤務が決まりました。入居は3月26日(月)の開設披露祝賀会後を予定。ふつうのおうちのペット同様、家族の一員として可愛がってあげてくださいね。



※2匹目の“同居犬”は、蘭子がスタッフとしての経験を積んでから検討する予定です。

◀イギリス生まれの小型犬・キャバリアは、愛らしい表情と気立てのよさが魅力。※写真はイメージです。

アウルのライフマザーが FMラジオ番組に出演しました

コミュニティFM「ラジオカロスサッポロ」で、毎週水曜日午後6時から放送されている1時間番組「介護と福祉のふれあいステーション」に、3月7日(水)、「アウルコート真駒内」のライフマザー(施設長)・武田ひろみが出演しました。

パーソナリティーの山本さんから「机上の計算通りには行かないこともありますよね、例えば入居者同士の関係とか」と問われ、「まず器。これから中

味をつくっていきます」と回答。お仕着せの誕生会などではなく、季節感のある催しや自発的な趣味サークルの支援などで、「定員37名という小規模ならではのアットホームさを生かしていきたい」と語りました。

そのほかにもさまざまな質問を受け、またさわやかな歌声が印象的な「希望の庭—アウルコートの唄—」もかけていただき、よいPRの機会となりました。